

表1：LCH 治療後の晚期続発症の頻度 (JLSG-96 および JLSG-02 登録症例からのデータ)

	全体 (n = 317)	多発骨型 (n = 111)	多臓器型 (n = 206)
中枢神経関連	中枢性尿崩症 50 (15.8%)	4 (3.6%)	46 (22.3%)
	神経学的障害 27 (8.5%)	6 (5.4%)	21 (10.2%)
	中枢神経変性症 20 (6.3%)	4 (3.6%)	16 (7.8%)
	知能障害・学習障害 17 (5.3%)	4 (3.6%)	13 (6.3%)
	てんかん 2 (0.6%)	1 (0.9%)	1 (0.5%)
	下垂体前葉機能低下症 22 (6.9%)	2 (1.8%)	20 (9.7%)
	成長ホルモン分泌不全 18 (5.7%)	2 (1.8%)	16 (7.8%)
	汎下垂体機能低下症 3 (0.9%)	1 (0.9%)	2 (1.0%)
	性腺機能低下症 7 (2.2%)	1 (0.9%)	6 (2.9%)
	性早熟症 1 (0.3%)	0	1 (0.9%)
非中枢神経関連	ACTH 欠損症 5 (1.6%)	0	5 (2.4%)
	TSH 欠損症 8 (2.5%)	0	8 (3.9%)
	整形学的障害 27 (8.5%)	14 (12.6%)	13 (6.3%)
	難聴 9 (2.8%)	6 (5.4%)	3 (1.5%)
	耳鼻科的障害 6 (1.9%)	0	6 (3.0%)
	歯牙欠損 4 (1.3%)	1 (0.9%)	3 (1.5%)
	肺障害 4 (1.4%)	0	4 (1.9%)
	皮膚障害 4 (1.5%)	1 (0.9%)	3 (1.5%)
	肝障害 1 (0.3%)	0	1 (0.9%)
	糖尿病 5 (1.6%)	0	5 (2.4%)
	顔面神経麻痺 1 (0.3%)	1 (0.9%)	0
	肥満 1 (0.3%)	1 (0.9%)	0
	二次がん 5 (1.6%)	2 (1.8%)	3 (1.5%)
	1つ以上の晚期続発症あり 109 (34.4%)	30 (27.0%)	79 (38.3%)